

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図					今後の課題		改善の方向性		事業実施の方向性
05398	市民	生涯学習のための基本的な方針・計画を策定することにより、市民が望む事業を効果的、効率的に実施できるようにする									継続する
事務事業名	生涯学習基本計画策定事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績	・予算額に応じた業務量として継続的に進める。 ・教育基本法の改正による当該事業の方向性に変化が発生する可能性がある。		
		基本計画策定委員会の開催数	回	0	0	総コスト	1,317	2,760			
						直接事業費	500	483			
所管課						人件費	817	2,277			
生涯学習課						特定財源	0	0			
		数値化できない成果		市民意向調査を踏まえての適正な計画策定		一般財源	1,317	2,760			
05399	新成人	思い出に残るような成人式を実施し新成人を祝福するとともに、成人としての自覚を促す。									継続する
事業名	成人式実施事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績	・今後も実行委員会形式での実施が望ましい。 ・人の繋がりにより実行委員会を安定的に組織化できるよう工夫が必要。 ・担任によるビデオレターは、是非継続したい。		
		成人式の参加者数	人	550	470	総コスト	3,074	3,488			
						直接事業費	1,900	1,573			
所管課						人件費	1,174	1,915			
生涯学習課						特定財源	0	0			
		数値化できない成果				一般財源	3,074	3,488			
05402	18歳以上35歳以下の市民(青年)	さぬき市青年会の活動を補助し活発化させ、青年会活動の充実を図る。									縮小を検討する
事業名	青年会補助支援事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績	・今年度さぬき市で開催される香川県都市青年教育振興協議会の共同事業への協力・支援。 行政と都市青協の発展的分離。		
		青年会員数	人	20	10	総コスト	707	782			
		都市青教共同事業参加者数	人	10	2	直接事業費	246	243			
所管課						人件費	461	539			
生涯学習課						特定財源	0	0			
		数値化できない成果				一般財源	707	782			
05403	婦人団体活動をする市民	市のまちづくり事業のボランティア活動をしたり、住みよい地域社会をめざして講演会等を実施し、幅広く活動できる団体としていく。									縮小を検討する
事業名	婦人団体補助支援事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績	現在、他自治体の婦人団体関係補助について把握できていないので、今後、調査し把握したい。 さまざまな女性団体のつながりを大切にしたい。		
		女性団体連絡会議演会、会合等の開催数	回	7	16	総コスト	3,681	2,368			
						直接事業費	1,540	1,540			
所管課						人件費	2,141	828			
生涯学習課						特定財源	0	0			
		数値化できない成果				一般財源	3,681	2,368			
05406	市内の高齢者	高齢者が生きがいを感じ、その豊富な人生経験や知識・技術を生かして、積極的に活動できるようにする。									継続する
事業名	高齢者団体補助支援事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績	現在の高齢者がどんなことを知りたいと考えているかをアンケート調査(生涯学習基本計画内の調査等)で把握し、それを反映させたい。 また、受講料については、現在、無料であるが、内容の充実も含め、多少の受益者負担をお願いする余地はある。		
		5地区合計参加延べ人数	人	4,400	4,301	総コスト	2,337	2,573			
						直接事業費	1,520	1,479			
所管課						人件費	817	1,094			
生涯学習課						特定財源	0	0			
		数値化できない成果				一般財源	2,337	2,573			

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性	
05407	20歳以上で市内在住者又は在勤者	市民がIT技術を活用して活発な活動ができるようにする。						サービスの内容については、18年度においても新たなコースを新設したが、平成19年度ではさら新たなコースを新設する予定である。 ただし、増設するばかりではなく、ニーズが減少しているコースについては廃止して、経費の節減に努める。 また、重要指標及び目標値については、コース数の減により、一概に達成できなかったとはいえないが、今後も注視する。 受益者負担については、平成19年度に機材の更新を予定しているため、それに見合った受講料を検討している。	・今後もコース設定を十分に検討しながら継続する。 ・開催地の選択に一考の余地がある。 ・受益者負担の増額を検討する必要がある。	継続する	
事業名	情報通信技術習得支援事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
	受講者数	人		300	184	総コスト	1,950				1,757
	アンケート結果(満足度)	%		90.0	84.0	直接事業費	1,133				929
						人件費	817				828
所管課						特定財源	600	362			
生涯学習課						一般財源	1,350	1,395			
数値化できない成果	受講者のアンケート内容、受講者の受講後の取り組み。										
05441	施設利用者	青少年が良好な自然に接触し、豊かな情操をたくむとともに、健全な戸外レクリエーション活動を通じて、心身の健全な育成を図り、規律ある生活や協調の精神を体得するための場を確保する。						施設の老朽化に伴い、南川自然の家への統合と廃止を検討。	・できれば平成19年度をもって廃止したい。 ・廃止に向けて関係機関との最終調整が必要。	休止、廃止を検討する	
事業名	青少年旅行村管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
	利用者延べ人数	人		1,300	1,381	総コスト	1,339				1,506
	上記のうち青少年利用者延べ人数(中学生以下)	人		460	530	直接事業費	807				823
						人件費	532				683
所管課						特定財源	47	43			
生涯学習課						一般財源	1,292	1,463			
数値化できない成果											
05442	施設利用者	野外活動を通じて人の生活と自然とのかかわりを体験的に学習し、豊かな自然環境の中で心身の健全な成長を図る場を確保する。						施設の老朽化に伴い、南川自然の家への統合と廃止を検討。	・施設の廃止又は他団体への管理移管を予定する。 ・関係機関との調整を図りたい。	休止、廃止を検討する	
事業名	前山キャンプ場管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
	利用者延べ人数	人		600	552	総コスト	1,037				1,108
						直接事業費	505				425
						人件費	532				683
所管課						特定財源	70	72			
生涯学習課						一般財源	967	1,036			
数値化できない成果											
05443	施設利用者	豊かな自然環境の中で宿泊学習を行い、自然教室や体験学習を通じて情操を豊かにし、健全な育成を図る場を確保する。						現在市内に3ヶ所あるキャンプ施設を南川自然の家に統合を行い、合理化を進める。 施設の管理だけでなく、自主事業を企画・実施できるような「生きた」施設への転換を図るため、新しくソフト面の運営をできるような体制を図りたい。	・できれば管理体制を強化したい。 ・この1~2年の内にソフト面を見直し、PRを積極的に行えば収支バランスも取れると思われる。	継続する	
事業名	南川キャンプ場管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
	利用者延べ人数	人		13,500	8,874	総コスト	6,921				6,620
						直接事業費	5,747				5,429
						人件費	1,174				1,191
所管課						特定財源	2,700	2,387			
生涯学習課						一般財源	4,221	4,233			
数値化できない成果											
06020	市民	社会教育委員の会 さぬき市の生涯学習の推進方針等の審議を行う市民大学講座 自己啓発と生涯学習の場を提供						・社会教育委員の会の中では、「さぬき市生涯学習基本計画」(仮称)の内容についても随時検討したい。 ・市民大学講座は、現在内部組織に委託して実施をしているので、今後は、市民と行政、官学、NPO(非営利組織)や民間との連携による講座の企画・運営への移行を検討したい。 ・英会話教室の講師は、現在、教育委員会の外国語指導助手(Assistant Language Teacher)にお願いをしているので、教室の受講料は無料であるが、レベルが受講生のニーズに対応していない本英会話教室は、対話経験を通して、英語への興味・関心を深め、コミュニケーション能力を高めることを目的としているため、今後は、香川県国際交流協会等とも連携した内容への改善を検討したい。	・「市民大学講座」は平成18年度で終了。 ・「英会話教室」を津田公民館管理事業に移行する。	継続する	
事業名	社会教育事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画				実績
	社会教育委員の会開催回数	回		2	2	総コスト	3,012				2,593
	市民大学講座参加者数	人		400	566	直接事業費	1,663				556
	英会話教室参加者数	人		200	227	人件費	1,349				2,037
所管課						特定財源	0	0			
生涯学習課						一般財源	3,012	2,593			
数値化できない成果											

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図					今後の課題		改善の方向性		事業実施の方向性
05401	18歳未満の市民とその保護者	さぬき市青少年育成市民会議の活動を補助し活発化させ、青少年健全育成のための事業を実施する。									事業実施の方向性
事業名											
市民会議補助支援事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)				・研修会の参加人数は、一定の限度があり、必ずしも投資効果と比例するものではない。啓発方法に一考の余地有り。 ・休止・廃止も視野に入れた取り組みとしたい。		
	研修会への参加人数	人	300	82			計画	実績			
所管課					総コスト	1,655	1,097				
					直接事業費	124	124				
生涯学習課					人件費	1,531	973				
	数値化できない成果				特定財源	0	0				
				一般財源	1,655	1,097					
05415	社会教育活動を行う市民	社会教育活動を活発化するために、その拠点を確保する。									事業実施の方向性
事業名											
公民館事業運営事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)				講座数及び講座生徒数が減少している要因として、公民館を利用している自主講座生の高齢者化が進んでいることが考えられる。 この課題を解決手段として、ひとつは団塊の世代の取り込みが重要視されており、生涯学習活動として自主講座は重要な要素と考えている。 また、親子教室においても設備及び経費ならびに講師の確保等の課題はあるが、時代にあったニーズを取り込む検討が必要である。		
	公民館等自主講座数	講座		245			計画	実績			
所管課					総コスト	4,720	3,415				
					直接事業費	2,158	1,367				
生涯学習課					人件費	2,562	2,048				
	数値化できない成果				特定財源	0	0				
				一般財源	4,720	3,415					
05416	施設を利用して活動する市民	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる公民館を維持管理し運営する。									事業実施の方向性
事業名											
津田公民館管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)				市内の中央公民館ではあるものの、老朽化が進み施設設備の修繕に多額の費用が必要である。また、避難所にも指定されているが、耐震補強も施されておらず、不安が残る。施設を利用したソフト事業が少なく、貸し館としての利用が多い。 他地区の地区公民館には館長が置かれているが、当公民館の館長は生涯学習課の公民館担当が兼務していて、津田地区の公民館利用者からは、公民館に館長を置いてほしいと要望がでている。 利用料については、平成20年度から料金改定を実施する予定である。		
	公民館利用者数	人	21,000	15,028			計画	実績			
所管課					総コスト	5,850	7,153				
					直接事業費	4,605	6,142				
生涯学習課					人件費	1,245	1,011				
	数値化できない成果 利用者の意見及び要望。				特定財源	135	316				
				一般財源	5,715	6,837					
05417	施設を利用して活動する市民	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる公民館を維持管理し運営する。									事業実施の方向性
事業名											
津田公民館北山分館管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)				以前、学校(分校)だった施設を公民館の分館として利用していることから、管理コストがかさんでいる。施設の縮小及び廃止を検討する余地が十分にある。 市内の社会教育施設は殆どが昭和60年以前に建築された施設であり、学校に引き続き耐震計画を進めて行かなくてはならない。 また、老朽化により、修繕費等維持管理費が占める割合が大きくなっているが、使用料の殆どが減免なので、特定財源が少ないのが現状である。 よって今後は受益者負担の観点から免除規定の見直しが必要		
	公民館利用者数	人	3,000	2,524			計画	実績			
所管課					総コスト	3,005	2,738				
					直接事業費	2,473	2,260				
生涯学習課					人件費	532	478				
	数値化できない成果 利用者の意見及び要望。				特定財源	15	11				
				一般財源	2,990	2,727					
05418	施設を利用して活動する市民	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる公民館を維持管理し運営する。									事業実施の方向性
事業名											
大川公民館管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)				大川地区の地区公民館ではあるが、老朽化が進み施設設備の修繕に多額の費用が必要である。また、避難所にも指定されているが、耐震補強も施されておらず、不安が残る。 施設を利用したソフト事業が少なく、貸し館としての利用が多い。		
	公民館利用者数	人	17,000	15,521			計画	実績			
所管課					総コスト	9,935	9,765				
					直接事業費	9,403	9,134				
生涯学習課					人件費	532	631				
	数値化できない成果 利用者の意見及び要望。				特定財源	145	207				
				一般財源	9,790	9,558					

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05419	施設を利用して活動する市民	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる公民館を維持管理し運営する。						志度公民館は昭和38年に建築された施設であるため老朽化している。よって、利用もこれ以上は望めないと考えている。そのような状況から平成19年度をもって休館する予定であり、既にその旨を定期使用団体には周知しており、旧志度町内の類似施設を紹介する準備をしている。ただし、人口規模から判断するに、社会教育における拠点及び住民の活動の場として、公民館は必要であると考えており、今後も建替えについては継続して検討していく必要がある。	施設の廃止に向けて準備を進める。	縮小を検討する
事業名										
志度公民館管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	利用者数	人	7,200	5,975	計画	実績				
	利用延べ回数	回	570	551	総コスト	2,436	2,128			
所管課					直接事業費	1,690	1,662			
生涯学習課					人件費	746	466			
	数値化できない成果	利用者の意見及び要望。				特定財源	50	35		
					一般財源	2,386	2,093			
05420	施設を利用して活動する市民	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる公民館を維持管理し運営する。						平成18年度より志度公民館鴨部分館で親子教室を実施した関係もあり、重要指標は向上した。ただし、他の施設同様に老朽化が進んでおり、地域性を考慮すれば、永年的な増加は見込めない。しかしながら、市内の社会教育施設は殆どが昭和60年以前に建築された施設であり、学校に引き続き耐震計画を進めて行かねばならず、利用者の高齢化により、バリアフリー化も進めなければならない。また、老朽化により、修繕費等維持管理費が占める割合が大きくなっているが、使用料の殆どが減免なので、特定財源が少ないのが現状である。よって今後は受益者負担の観点から免除規定の見直しが必要であり、公民館運営審議会では概ねの了解を得ている。今後は、さぬき市全体の施設との整合性及び徴収方法について市全体で協議しなくてはならない。	地域のコミュニティ施設としての存続を希望する方向で自治会等との協議が必要を考える。	縮小を検討する
事業名										
志度公民館鴨部分館管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	利用者数	人	1,500	1,931	計画	実績				
	利用延べ回数	回	140	170	総コスト	2,391	2,222			
所管課					直接事業費	1,788	1,756			
生涯学習課					人件費	603	466			
	数値化できない成果	利用者の意見及び要望。				特定財源	10	0		
					一般財源	2,381	2,222			
05421	施設を利用して活動する市民	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる公民館を維持管理し運営する。						現状では他の施設同様に老朽化が進んでおり、地域性を考慮すれば、利用の増加は見込めないが、志度公民館の休館により、利用が増加する可能性はある。しかしながら、市内の社会教育施設は殆どが昭和60年以前に建築された施設であり、学校に引き続き耐震計画を進めて行かねばならず、利用者の高齢化により、バリアフリー化も進めなければならない。また、老朽化により、修繕費等維持管理費が占める割合が大きくなっているが、使用料の殆どが減免なので、特定財源が少ないのが現状である。よって今後は受益者負担の観点から免除規定の見直しが必要であり、公民館運営審議会では概ねの了解を得ている。今後は、さぬき市全体の施設との整合性及び徴収方法について市全体で協議しなくてはならない。	地域のコミュニティ施設としての存続を希望する方向で自治会等との協議が必要を考える。	縮小を検討する
事業名										
志度公民館末分館管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	利用者数	人	2,200	2,136	計画	実績				
	利用延べ回数	回	220	217	総コスト	2,045	2,002			
所管課					直接事業費	1,442	1,391			
生涯学習課					人件費	603	611			
	数値化できない成果	利用者の意見及び要望。				特定財源	10	34		
					一般財源	2,035	1,968			
05422	施設を利用して活動する市民	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる公民館を維持管理し運営する。						寒川地区の地区公民館ではあるが、老朽化が進み施設設備の修繕に多額の費用が必要である。また、避難所にも指定されているが、耐震補強も施されておらず、不安が残る。施設を利用したソフト事業が少なく、貸し館としての利用が多い。	耐震対策を進める必要がある。使用料について早期に条例改正を図りたい。	縮小を検討する
事業名										
寒川公民館管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	公民館利用者数	人	15,100	3,126	計画	実績				
	公民館利用延べ回数	回	630	191	総コスト	7,113	6,471			
所管課					直接事業費	6,581	5,840			
生涯学習課					人件費	532	631			
	数値化できない成果	利用者の意見及び要望。				特定財源	510	577		
					一般財源	6,603	5,894			
05423	施設を利用して活動する市民	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる公民館を維持管理し運営する。						長尾地区の地区公民館ではあるが、老朽化が進み施設設備の修繕に多額の費用が必要である。また、避難所にも指定されているが、耐震補強も施されておらず、不安が残る。施設を利用したソフト事業が少なく、貸し館としての利用が多い。	耐震対策を進める必要がある。使用料について早期に条例改正を図りたい。	継続する
事業名										
長尾公民館管理事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
	公民館利用者数	人	14,800	18,801	計画	実績				
	公民館利用延べ回数	回	1,200	1,218	総コスト	18,483	18,164			
所管課					直接事業費	11,924	11,582			
生涯学習課					人件費	6,559	6,582			
	数値化できない成果	利用者の意見及び要望。				特定財源	4,090	4,252		
					一般財源	14,393	13,912			

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題		改善の方向性		事業実施の方向性
05424	施設を利用して活動する市民	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる公民館を維持管理し運営する。						市内の社会教育施設は殆どが昭和60年以前に建築された施設であり、学校に引き続き耐震計画を進めて行かねばならず、利用者の高齢化により、バリアフリー化も進めなければならない。		地域のコミュニティ施設としての存続を希望する方向で自治会等との協議が必要を考える。		縮小を検討する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画	実績				
長尾公民館造田分館管理事業	公民館利用者数	人	5,100	4,483	総コスト		3,215	3,069				
	公民館利用延べ回数	回	450	324	直接事業費	1,898	1,577					
所管課					人件費	1,317	1,492					
生涯学習課					特定財源	16	42					
	数値化できない成果	利用者の意見及び要望。						一般財源	3,199	3,027		
05425	施設を利用して活動する市民	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる公民館を維持管理し運営する。						市内の社会教育施設は殆どが昭和60年以前に建築された施設であり、学校に引き続き耐震計画を進めて行かねばならず、利用者の高齢化により、バリアフリー化も進めなければならない。		地域のコミュニティ施設としての存続を希望する方向で自治会等との協議が必要を考える。		縮小を検討する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画	実績				
長尾公民館多和分館管理事業	公民館利用者数	人	1,300	976	総コスト		1,815	1,546				
	公民館利用延べ回数	回	90	67	直接事業費	1,568	1,143					
所管課					人件費	247	403					
生涯学習課					特定財源	10	13					
	数値化できない成果	利用者の意見及び要望。						一般財源	1,805	1,533		
05426	施設を利用して活動する市民	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる公民館を維持管理し運営する。						市内の社会教育施設は殆どが昭和60年以前に建築された施設であり、学校に引き続き耐震計画を進めて行かねばならず、利用者の高齢化により、バリアフリー化も進めなければならない。		地域のコミュニティ施設としての存続を希望する方向で自治会等との協議が必要を考える。		縮小を検討する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画	実績				
長尾公民館前山分館管理事業	公民館利用者数	人	1,900	2,446	総コスト		1,228	1,150				
	公民館利用延べ回数	回	90	84	直接事業費	981	747					
所管課					人件費	247	403					
生涯学習課					特定財源	1	3					
	数値化できない成果	利用者の意見及び要望。						一般財源	1,227	1,147		
05427	施設を利用して活動する市民	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる公民館を維持管理し運営する。						市内の社会教育施設は殆どが昭和60年以前に建築された施設であり、学校に引き続き耐震計画を進めて行かねばならず、利用者の高齢化により、バリアフリー化も進めなければならない。		地域のコミュニティ施設としての存続を希望する方向で自治会等との協議が必要を考える。		縮小を検討する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画	実績				
長尾公民館昭和分館管理事業	公民館利用者数	人	3,400	1,636	総コスト		1,195	1,177				
	公民館利用延べ回数	回	130	113	直接事業費	948	774					
所管課					人件費	247	403					
生涯学習課					特定財源	30	30					
	数値化できない成果	利用者の意見及び要望。						一般財源	1,165	1,147		
05438	働く婦人の家を利用する市民	施設の利用を活発にする						現状では他の施設同様に老朽化が進んでおり永年の利用の増加は見込めないが、志度公民館の休館により、志度働く婦人の家の利用が増加する可能性はある。		教育委員会が管理する施設であることを明文化する必要がある。関係課との協議を継続する。		継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		計画	実績				
働く婦人の家管理事業	利用者数	人	27,600	21,800	総コスト		8,815	8,887				
	利用延べ回数	回	1,500	1,980	直接事業費	4,145	4,074					
所管課					人件費	4,670	4,813					
生涯学習課					特定財源	126	142					
	数値化できない成果	利用者の意見及び要望。						一般財源	8,689	8,745		

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05439	施設を利用して活動する市民	社会教育活動を円滑及び活発にするために、その拠点となる公民館を維持管理し運営する。						現状では比較的新しい施設のため、耐震計画の必要もなく、利用も増加している。ただし、利用が増えるということは光熱水費及び繕費等維持管理費が増加する傾向にあるのだが、使用料の殆どが減免なので、特定財源が少ないのが現状である。よって今後は受益者負担の観点から免除規定の見直しが必要であると考えている。今後は、さぬき市全体の施設との整合性及び徴収方法について市全体で協議しなくてはならない。	使用料について早期に条例改正を図りたい。	継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
生涯学習館管理事業	利用者数	人	22,300	19,797	計画	実績				
	利用延べ回数	回	1,200	1,101	総コスト	4,593 4,434				
所管課					直接事業費	3,562 3,606				
生涯学習課					人件費	1,031 828				
					特定財源	100 100				
	数値化できない成果	利用者の意見及び要望。				一般財源	4,493 4,334			
05440	青少年交流プラザを利用する市民	青少年の交流・地域のコミュニティ・憩いの場とすることにより施設の利用を活発にする						・施設の管理に関して、利用者との協働が必要である。 ・マッサージチェアの利用頻度が高く、故障しやすいので修理代がかさむ。利用者に相応の受益者負担を求めることも検討の余地がある。	・世代間交流が望まれる。 ・備品使用の際の有料化には是非積極的に検討すべき。	継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
青少年交流プラザ管理事業	行事参加人数	人	150	171	計画	実績				
					総コスト	7,161 5,683				
所管課					直接事業費	5,987 5,534				
生涯学習課					人件費	1,174 149				
					特定財源	481 332				
	数値化できない成果	利用者の意見、要望及び満足度。図書館利用者の休憩場所としての必要性。				一般財源	6,680 5,351			
05444	図書館利用者	自らの教養を高めるとともに、生涯学習と地域の情報発信拠点の役割を担う。						ホームページの立ち上げ	・本事業は、図書館本来の運営のチエックを行う役目があり、現行取り組みを安定的に継続することで可。	継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
図書館管理運営事業	さぬき市図書館協議会	回	2	2	計画	実績				
	さぬき市子ども読書活動推進会議	回	2	2	総コスト	2,291 1,784				
所管課					直接事業費	1,441 1,339				
生涯学習課					人件費	850 445				
					特定財源	22 47				
	数値化できない成果	図書館への意見及び要望				一般財源	2,269 1,737			
05445	市民	幼児から高齢者まで、全ての市民が自らの教育をはじめとする文化的教養を高め得る環境を提供する						蔵書検索のできる図書館ホームページの立ち上げが急がれる。図書館未利用者のニーズにあったサービスの提供が必要である。遠方・時間が合わないなど、図書館を利用しにくい市民へは、例えば公民館を拠点とした全域サービスの提供などが考えられる。また、図書館を利用しようと思わない人々へは、例えば調査支援・問題解決支援などの新たな切り口による情報・サービスの提供などが考えられる。資料収集の業務においては、公共図書館が行うべき地域への情報提供のための資料収集をその専門性において行い、また蔵書新鮮度を上げ、古い本の中に新しい本が埋もれてしまわないよう積極的な除架を行う必要がある。ただ、寒川図書館には書庫がないため、除架した本の置き場所を確保することが前提となる。	・蔵書率が100%に達することから、早期に書庫の確保が必要。 ・文化財コーナーの移転も検討が必要。	継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
寒川図書館管理事業	貸出冊数	冊	30,500	39,022	計画	実績				
	蔵書冊数	冊	25,000	21,221	総コスト	14,695 9,637				
所管課	新規図書購入冊数	冊	1,000	730	直接事業費	8,099 7,856				
生涯学習課					人件費	6,596 1,781				
					特定財源	0 0				
	数値化できない成果	質問調査(レファレンス)の満足度				一般財源	14,695 9,637			
05446	市民	家族で読書に親しみ、知性や感性を磨き、本を読む環境づくりや情報の提供等、図書館サービスを図る						図書館サービス向上のため、ボランティアネットワークを構築する。	・収入が見込める施設でないため、支出の抑制を必要とする。 ・長期的には、文化関係施設との一体管理も検討の余地有り。	継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
志度図書館管理事業	図書館利用者数(入館者数)	人	101,000	103,293	計画	実績				
	貸出冊数	冊	103,000	111,440	総コスト	27,862 27,990				
所管課	蔵書数	冊	43,000	35,567	直接事業費	16,343 16,140				
生涯学習課					人件費	11,519 11,850				
					特定財源	6 0				
	数値化できない成果	利用者の意見及び要望				一般財源	27,856 27,990			

